



加盟
団体



サンフレッチェ広島



JTサンダース



ワクナガレオリック



広島メイプルレッズ



広島ガス
バドミントン部



NTT西日本広島
ソフトテニスクラブ



中国電力
陸上競技部



Coca-Cola West
Red Sparks



広島東洋カープ

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

ターミナルビル1F

TEL:082-233-3233

URL:www.tops-h.net/

このQRコードから
公式Webサイトへ
アクセスできます。



J T 12年ぶり黒鷲旗つかむ

J Tサンダースは4月30日(土)から大阪中央体育館で開かれた第65回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会で12年ぶり3度目の頂点に立った。

安定したゲーム運びでグループリーグを1位で突破したJ Tは、準々決勝で堺、準決勝はサントリーをいずれも3-1で下し、2年ぶりに決勝に進出した。決勝の相手はグループリーグ最終戦で対戦、ストレート勝ちしたジェイテクト。準決勝では3冠(プレミアリーグ、全日本選手権、黒鷲旗)を狙った豊田合成をストレートで破り勢いがあつたジェイテクトを、再びヴィソット、越川優や日本代表候補・八子大輔の代役、安井勇誠らの強打、ろう、さらに若い力もブロック、レシーブに奮闘、3-0で快勝した。

連覇を目指したプレミアリーグは越川のケガなどもあり5位。全日本選手権も準優勝だったが、シーズン最後の戦いを最高の形で締めくくった。

一方、女子のJ Tも2年連続4度目の優勝を成し遂げ、歴代3度目となる初のアベック優勝というでっかい夢まで手繰り寄せた。ヴコビッチ監督は選手たちの活躍を称賛し、町野選手は「来シーズンに向けて、いいスタートになる終わり方だった」と話した。

最高殊勲選手(黒鷲賞)には退部するヴィソットが選ばれ、深津旭弘、越川、安井、ヴィソットがベスト6に、ベストリベロには唐川大志が選出された。



12年ぶりの優勝を成し遂げたJ T

中国電力
陸上競技部
中国電力陸上競技部

「中電カマイシ」織田陸上で圧巻デビュー

大きな期待を背負って社会人入りしたケニア出身のカマイシが4月29日(祝・金)に広島広域公園陸上競技場での第50回織田幹雄記念国際陸上5000mで鮮やかなデビューを飾った。

世羅高で高校駅伝全国制覇、インターハイでも優勝実績のあるカマイシは、有力選手が出場で競うグランプリに出場、高い実力を見せつけた。残り200mで得意のラストスパート、13分24秒06の好タイムで見事に優勝のテープを切った。

大会には中国電力勢は11人が出場した。

さらに翌週の5月7日(土)に宮崎県延岡市で行われた第27回ゴールデンゲームズ in のべおか大会でも5000mに出場、再びラストスパートを効かせて逃げ切り、自己ベストを更新する13分17秒50で優勝を飾った。

高校時代から抜群の勝負強さを発揮したカマイシだったが、社会人でも通用することを証明してみせた。



2つの大会の5000mで優勝し、
見事な社会人デビューを果たしたカマイシ

鯉の誇りだ「努力の新井」 2000本安打

名球会という華々しい世界にまた1人、名を刻んだ。4月26日（火）神宮球場でプロ18年目の新井貴浩が史上47人目の2000本安打を達成した。広島カープでは、山本浩二氏、衣笠祥雄氏、野村謙二郎氏、前田智徳氏に次ぐ史上5人目の偉業達成。

広島工高、駒沢大を経て1998年にドラフト6位でカープに入団。周囲の2倍も3倍も猛練習するなど努力し続け、2005年には初のホームラン王に輝くなど地元出身のスターと成長した。しかし、2007年オフにFA権を行使して阪神に移籍。7シーズンで867安打を記録した。

そして2014年オフ、自ら自由契約を申し出て、再びカープの真っ赤なユニフォームに袖を通した。復帰初年度はチームトップの打率でチームをリード、今シーズンも開幕からハイペースで安打を積み重ねた。

偉業の達成の日は駒沢大時代に4年間を過ごした感慨深い神宮でのヤクルト戦。3回、ランナーを2塁に置いての第2打席。マウンドは最優秀投手のタイトルを獲得したことのある成瀬善久。内角のボールを思いっきり引っ張り左翼線を破る会心の二塁打となった。試合は球団11年ぶりとなる3者連続アーチが飛び出すなど、11-4の大勝で、大記録に花を添えた。ここまでの道のりは決して平坦ではなかったが、たゆまぬ努力と練習で積み重ねた結果の金字塔である。ドラフト6位以下での2000本安打達成は、阪急で活躍した世界の盗塁王、福本豊氏以来2人。ここまで決して平坦な道のりではない中での快挙となった。



2000本安打を達成した新井（前列中央）を祝福するカープナイン

4/26～5/25 トップス広島 試合結果

中国電力陸上競技部

▽第50回織田幹雄記念国際陸上競技大会

4/29 グランプリ 5000m ポール・カマイシ(1位 13分24秒06) 北魁道(16位 14分20秒09)
 ノングランプリ 5000m 岡本直己(3位 13分53秒12) 山崎亮平(5位 14分05秒97)
 清谷匠(7位 14分06秒63) 森本卓司(8位 14分07秒36)
 米澤類(9位 14分07秒98) 松井智靖(10位 14分10秒55)
 渡辺心(11位 14分11秒45) 藤森憲秀(12位 14分11秒94)
 竹内一輝(14位 14分17秒48)

広島東洋カープ

▽セ・リーグ

4/29 広島東洋カープ ○9-4 ● 中日ドラゴンズ
 4/30 広島東洋カープ ○12-2● 中日ドラゴンズ
 5/1 広島東洋カープ ○10-7● 中日ドラゴンズ
 5/6 広島東洋カープ ●0-6 ○ 横浜 DeNA ベイスターズ
 5/7 広島東洋カープ ○10-4● 横浜 DeNA ベイスターズ
 5/8 広島東洋カープ ●1-7 ○ 横浜 DeNA ベイスターズ

サンフレッチェ広島

▽2016 J1 リーグ 1st. ステージ

5/8 サンフレッチェ広島 ○3-0● サガン鳥栖
 5/13 サンフレッチェ広島 △0-0△ 柏レイソル
 5/21 サンフレッチェ広島 ●1-3○ ガンバ大阪
 ▽AFC チャンピオンズリーグ 2016
 5/4 サンフレッチェ広島 ○2-1● FC ソウル

コカ・コーラウエスト 即戦力の5人が加入

昨年の日本リーグや第76回全日本女子ホッケー選手権大会で優勝を逃したコカ・コーラウエスト。今年こそは4冠と意気込むチームに、5人の即戦力が加入、開幕した日本リーグで早くも勝利に貢献している。

GK前田彩花（聖泉大出）は、「どんな形でもチームに貢献できるように」と、泥臭さを前面に出してのプレーに期待がかかる。FBの中尾明日香（山梨学院大出）は、積極的なオーバーラップが持ち味。現在は故障中だが、彼女が復帰すればより一層、チームに厚みが出てくるだろう。同じくFB藤井美沙（山梨学院大出）は、ペナルティーコーナーでのフリックシュートが武器。すでに6得点とゴールを量産している。

攻撃の要として期待されるFWには、2人が加わった。佐藤圭（山梨学院大出）は「先輩からいろいろと吸収しながら、1年目らしく何事にも積極的に取り組みたい」、辻井紫歩（天理大出）も、「何事も自分から積極的にチャレンジ精神を持って取り組みたい」と積極性を強調し、実戦を経験している

2016年のスローガンである、“RED ROCK 真っ向勝負”を合言葉に、打倒ソニーにチャレンジする。



GK：前田彩花



FB：中尾明日香



FB：藤井美沙



FW：佐藤圭



FW：辻井紫歩



湧永製薬・メイプルレッズ合同 ファン感謝デー開催！！

湧永製薬、広島メイプルレッズ合同ファン感謝デーが4月30日（土）にマエダハウジング東区スポーツセンターで開催された。午前中は小中学生対象のハンドボール体験教室があり、両チームの選手が基本プレーを中心に指導した。

午後からは、湧永製薬が初の全国中学生大会で初優勝した甲田中男子とメイプルジュニアの中学生男子、メイプルレッズが同女子とミニゲームを行った。

また、平成28年熊本地震への復興支援として、義援金募金活動も行った。義援金は日本ハンドボール協会を通じて被災地に送られる。

イベントの最後には昨シーズン限りで引退した選手が紹介され、花束が贈られた。



ファン感謝デーで熊本地震に義捐金を呼びかける湧永製薬、メイプルレッズの選手ら



サンフレ 地域との繋がり

40回目を迎えたひろしまフラワーフェスティバルは5月3日（火）から5日（木）にかけて平和大通りなどで開かれ、3日の花のパレードにはサポーターが参加、5日には選手がサイン会とトークショーを行った。

花のパレードではあいにくの雨だったが、約100人のサポーターが平和大通りをトップスの仲間も交え行進した。パレードの参加の条件にはサンフレッチェ広島のチームカラーである紫のアイテムを身に着けるということもあり、パレードの列はきれいな紫一色に染まっていた。

5日のサイン会とトークショーには、今シーズン加入した森島司選手（四日市中央工高出）と長沼洋一選手（広島ユース出身）が行った。中でもマツダステージで行われたトークショーでは森島選手と長沼選手を見に来ていた清水航平選手が飛び入り参加するというサプライズもあり盛り上がった。



5日のトークショーに参加した選手たち



NTT 長江 2 位、新人船水 3 位 全日本シングルス選手権

5月14日（土）、15日（日）と奈良県明日香村にソフトテニスの第23回全日本シングルス選手権大会兼アジア選手権日本代表選会は5月14日（土）から2日間、奈良県橿原公苑明日香庭球場で開かれ、4度目の制覇を狙った長江光一は準優勝、新人の船水雄太（早大出）が3位に入った。

昨年の実績と各県の予選を通過した287人がエントリーし、優勝者が日本代表決定という超過酷なトーナメント戦。すでにダブルス予選優勝し代表を決めている水澤・長江を含め、NTT西日本広島からは8人が出場した。

過去5大会連続で国際大会に日本シングルのエースとして出場している長江は順当に決勝に駒を進めた。昨年の世界選手権でペアを組んだ増田健人（和歌山県庁）の厳しい攻めと勢いで3ゲーム連取されたが、驚異的な粘りで3ゲームを取り返し、ファイナルゲームに持ち込んだ。流れは完全に長江かと思われたが、増田も巻き返し一進一退の攻防。7本1ポイント先取のファイナルゲームのうち、2ポイントをネットインで失うというアンラッキーもあり力尽きた。また、昨年準優勝の船水は準決勝で足を故障、3位に終わった。

日本代表の残り3枠と、日本開催での個人戦だけ出場となるワイルドカード（人数未定）の決定はナショナルチーム合宿での選考となる。今回代表権を獲得できなかったナショナルチームメンバー村上、丸中、船水には推薦選考合宿でのアピールが期待される。

各チームの1推し選手を紹介します。

☆選手紹介コーナー☆

広島ガスバドミントン部 桜井みどり選手



生年月日 1989年10月27日
身長 165cm
血液型 A型
出身地 石川県

↓選手からのコメント

今シーズンから主将になりました。日本リーグ1部復帰を目指し頑張ります。



広島ガスが小中高を指導

広島ガスは5月10日（火）に広島グリーンアリーナにて、小中高練習会を行った。

参加した小中高校生とバドミントンの基礎練習やスパリングを行った。参加者は、積極的に選手にアドバイスを求め、真剣なまなざしで練習に打ち込み、充実して1日になった。

この練習会を通して学んだことを日々の練習に活かし、成長につながれることを期待したい。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。